

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 5 月 23 日 (2013.5.23)

【公開番号】特開 2011-228795 (P2011-228795A)
 【公開日】平成 23 年 11 月 10 日 (2011.11.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-045
 【出願番号】特願 2010-94235 (P2010-94235)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)
 H 0 4 N 5/232 (2006.01)
 G 0 2 B 7/36 (2006.01)
 G 0 3 B 13/36 (2006.01)
 G 0 3 B 17/18 (2006.01)
 H 0 4 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 B
 H 0 4 N 5/232 H
 H 0 4 N 5/225 A
 G 0 2 B 7/11 D
 G 0 3 B 3/00 A
 G 0 3 B 17/18 Z
 H 0 4 N 101:00

【手続補正書】
 【提出日】平成 25 年 4 月 3 日 (2013.4.3)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

被写体を撮像して得られる画像に基づいてライブビュー表示を行うことが可能なデジタルカメラにおいて、

手動焦点調節部材の操作に応じて焦点調節され、上記画像を得るための撮影レンズと、
 上記ライブビュー表示中の上記画像のコントラスト値を繰返し検出し、該コントラスト値の変化態様がピークを超えて減少に転じた態様であるか否かを判定する判定部と、

上記コントラスト値が上記変化態様を示したと上記判定部が判定した場合に、上記ライブビュー表示されている画像の一部を拡大表示する拡大表示制御部と、

を具備することを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 2】

上記拡大表示制御部は、上記拡大表示の後で所定時間が経過した場合に、上記拡大表示を終了させることを特徴とする請求項 1 に記載のデジタルカメラ。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 6】

上記の目的を達成するために、本発明の一態様のデジタルカメラは、被写体を撮像して得られる画像に基づいてライブビュー表示を行うことが可能なデジタルカメラにおいて、手動焦点調節部材の操作に応じて焦点調節され、上記画像を得るための撮影レンズと、上記ライブビュー表示中の上記画像のコントラスト値を繰り返し検出し、該コントラスト値の変化態様がピークを超えて減少に転じた態様であるか否かを判定する判定部と、上記コントラスト値が上記変化態様を示したと上記判定部が判定した場合に、上記ライブビュー表示されている画像の一部を拡大表示する拡大表示制御部と、を具備することを特徴とする。